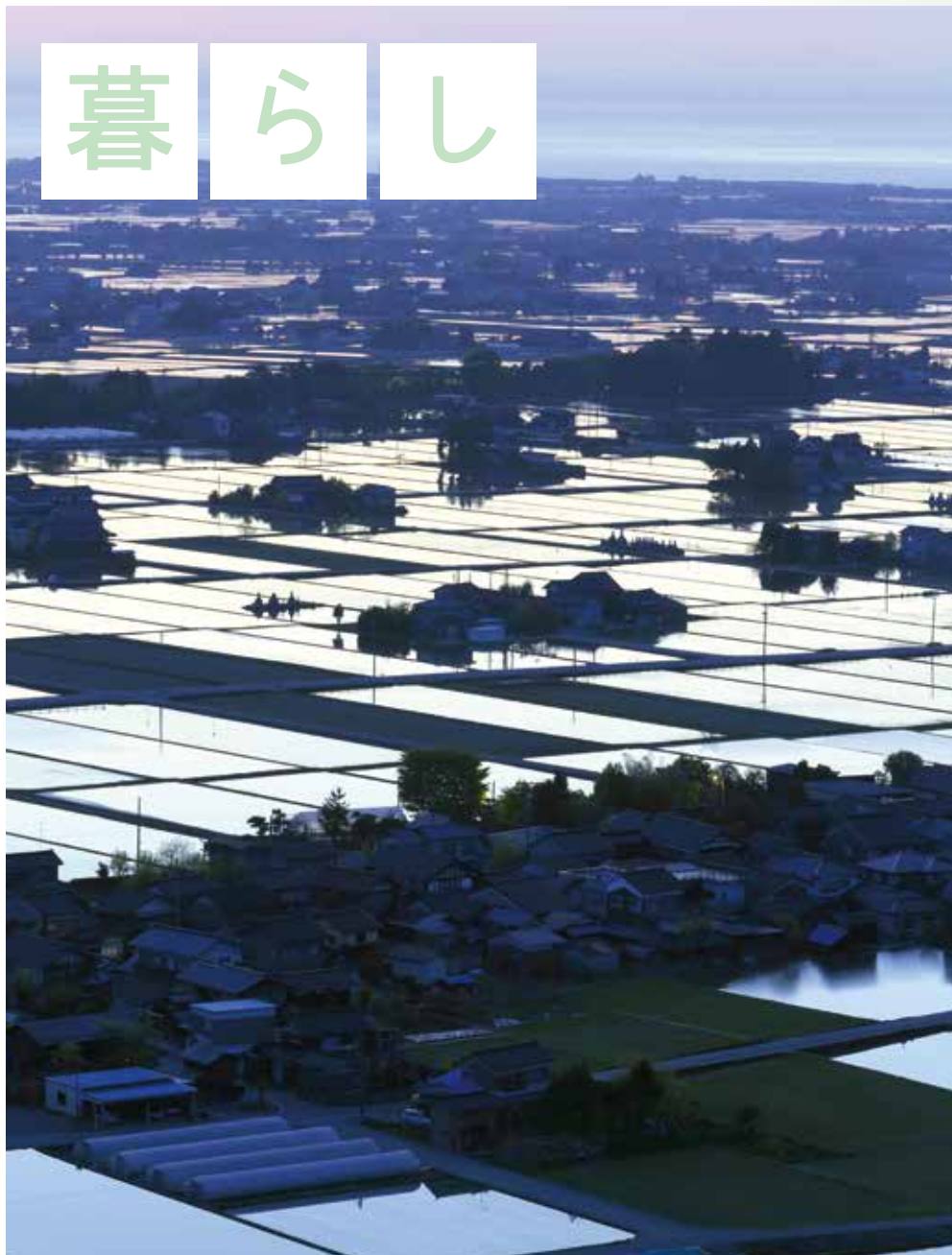


暮らし



暮らしやすさを築き、やすらぎのあるまちづくり

政策の柱

(5) 快適な生活基盤と持続可能な社会の構築

- (5)– 1 市街地の再構築と地域交通網の充実
- (5)– 2 利便性の高い社会基盤の構築
- (5)– 3 居心地の良い生活空間の創出

「まち・ひと・しごと」づくり戦略

戦略

まちづくり

政策の柱

(6) 安心・安全体制の強化と備えの充実

- (6)– 1 防災基盤の強化と備えの充実
- (6)– 2 防犯・交通安全対策の推進
- (6)– 3 消防・救急体制の充実

戦略

まちづくり

政策の柱(5) 快適な生活基盤と持続可能な社会の構築【生活基盤】

(5)-1 市街地の再構築と地域交通網の充実

【現状と課題】

- 郊外での宅地造成や大型小売店の進出などにより、本町の中心市街地は、ますます空洞化が進んでいることから、都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づく効果的な土地利用のあり方や都市機能の適切な誘導が求められています。
- 高齢者や子どもなど、交通弱者や町民の日常生活を支える移動手段として、公共交通の役割は重要であり、今後も利用者ニーズを捉えながら公共交通の利便性の確保・充実に努める必要があります。
- 町の玄関口である入善駅周辺においては、鉄道の利用促進や駅利用者の利便性、安全性を向上させるため、交通結節点としての機能の強化が求められます。

【住民意識調査による評価】

<コンパクトシティの実現>

満足度	低い	評 価	施策タイプⅢ
重要度	低い		

<地域交通の充実>

満足度	低い	評 価	施策タイプⅠ
重要度	高い		

【町民の声】

- ・ 入善駅への送迎の際、駐車場が狭い。
- ・ 運転免許証を返納したら、買い物難民になりそうで不安だ。

【施策の方針と具体的な取組み】

① 市街地の再構築と居心地のよい都市空間の構築

- 立地適正化計画に基づき、良好な住環境や都市機能の誘導・充実を図り、持続可能なコンパクトなまちづくりを推進します。
- 都市計画マスタープランに基づき、都市機能や居住機能の適正な配置を図るとともに、まちづくりの方針に連動した計画的な土地利用を推進します。
- 良好な景観形成や通行空間の安全性・快適性を確保するため、市街地における無電柱化に向けた検討を推進します。
- 商店街の活性化や市街地の整備を一体的に推進することで、にぎわいのある市街地の再構築を図ります。